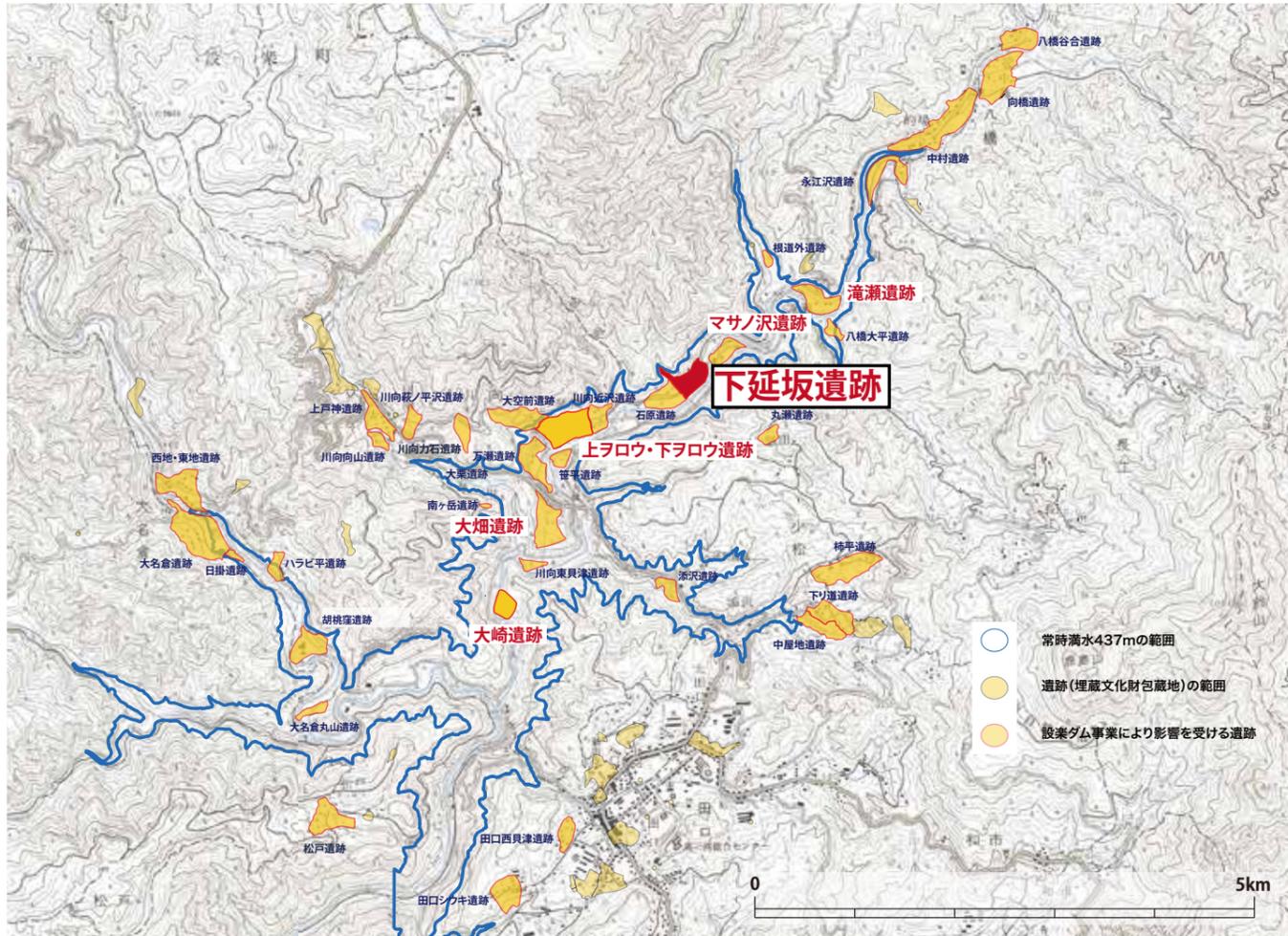


# 下延坂遺跡 位置図



# 下延坂遺跡 年表

国土地理院発行 2万5千分の1地形図(田口)(海老)

2000年	1900年	1800年	1700年	1600年	1500年	1400年	1300年	1200年	1100年	1000年	900年	800年	700年	600年	300年	A.D. 1年	250年前	300年前	400年前	500年前	600年前	1500年前	2500年前	3000年前	3500年前	年代								
近代・現代		江戸時代		室町時代		鎌倉時代		平安時代		奈良時代		飛鳥時代		古墳時代		弥生時代		縄文時代		早期		草創期		後期		時代								
1945年	1867年			1603年	1575年	1467年	1338年	1192年		794年	743年	710年	645年													近代								
太平洋戦争終結	大政奉還			徳川家康 江戸幕府を開く	長篠の戦い	足利尊氏 室町幕府を開く	源頼朝 征夷大将軍となる	藤原氏の摂関政治		平安京遷都	東大寺大仏建立の詔・国分寺	平城京遷都	乙巳の変(大化の改新)	大和政権の出現・各地に古墳の造営	女王卑弥呼邪馬台国を統治する	稲作の開始	土器埋葬群が形成される	環濠集落の出現	寒冷化し、海退した低地にも生活を始める	気候の温暖化による海進	貝塚の形成	土器の発明・弓矢の使用	氷河期が終わる				縄文時代							
				吉田城跡(豊橋市)		津島城址(設楽町)	武節城址(豊田市)	大根平遺跡(設楽町)			三河国分寺跡(豊川市)			丸根古墳(設楽町)	馬越長火塚古墳(豊橋市)	西向遺跡(東栄町)	瓜郷遺跡(豊橋市)	白土遺跡(豊橋市)	松平遺跡(東栄町)	麻生田大橋遺跡(豊川市)	宮崎遺跡(豊橋市)	吉田貝塚(田原市)	万壽遺跡(設楽町)	石岸遺跡(新城市)	多利畑遺跡(豊橋市)	流瀬遺跡(設楽町)	大安寺遺跡(豊田市)	鞍馬遺跡(設楽町)	大根平遺跡(設楽町)	モリ下遺跡(新城市)	茶臼山遺跡(豊根村)	駒場遺跡(豊川市)	上吉野遺跡(瀬戸市)	愛知県の遺跡

今年度の調査で確認された時期  
過去の調査で確認された時期



## 設楽ダム事業に伴う発掘調査

しものべざかいせき

# 下延坂遺跡 地元説明会 資料

令和4年 10月29日(土)11時~

2022年 発掘作業風景 竪穴建物跡(4151SI)の掘削の様子

今までの下延坂遺跡における成果(2020~2021)

しものべざかいせき したらちょうかわむき さかいがわ あいちけんまいどうぶんかざい

下延坂遺跡は設楽町川向地区の境川右岸に位置し、愛知県埋蔵文化財センターによる発掘調査は今年で3年目を迎えます。2020年の1年目での調査では、主に縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての竪穴状遺構9基をはじめとする複数の遺構と遺物が確認されました。2021年の2年目の調査では、縄文時代後期から晩期にかけての土器埋設遺構や、縄文時代中期後半の竪穴建物跡が計5棟確認され、その内2棟は竪穴建物跡の上に集石遺構を伴っていました。



竪穴建物跡に伴う集石遺構(縄文時代中期後半)  
(2021年 下延坂遺跡 21B区)



集石遺構の下層の竪穴建物跡(縄文時代中期後半)  
(2021年 下延坂遺跡 21B区)

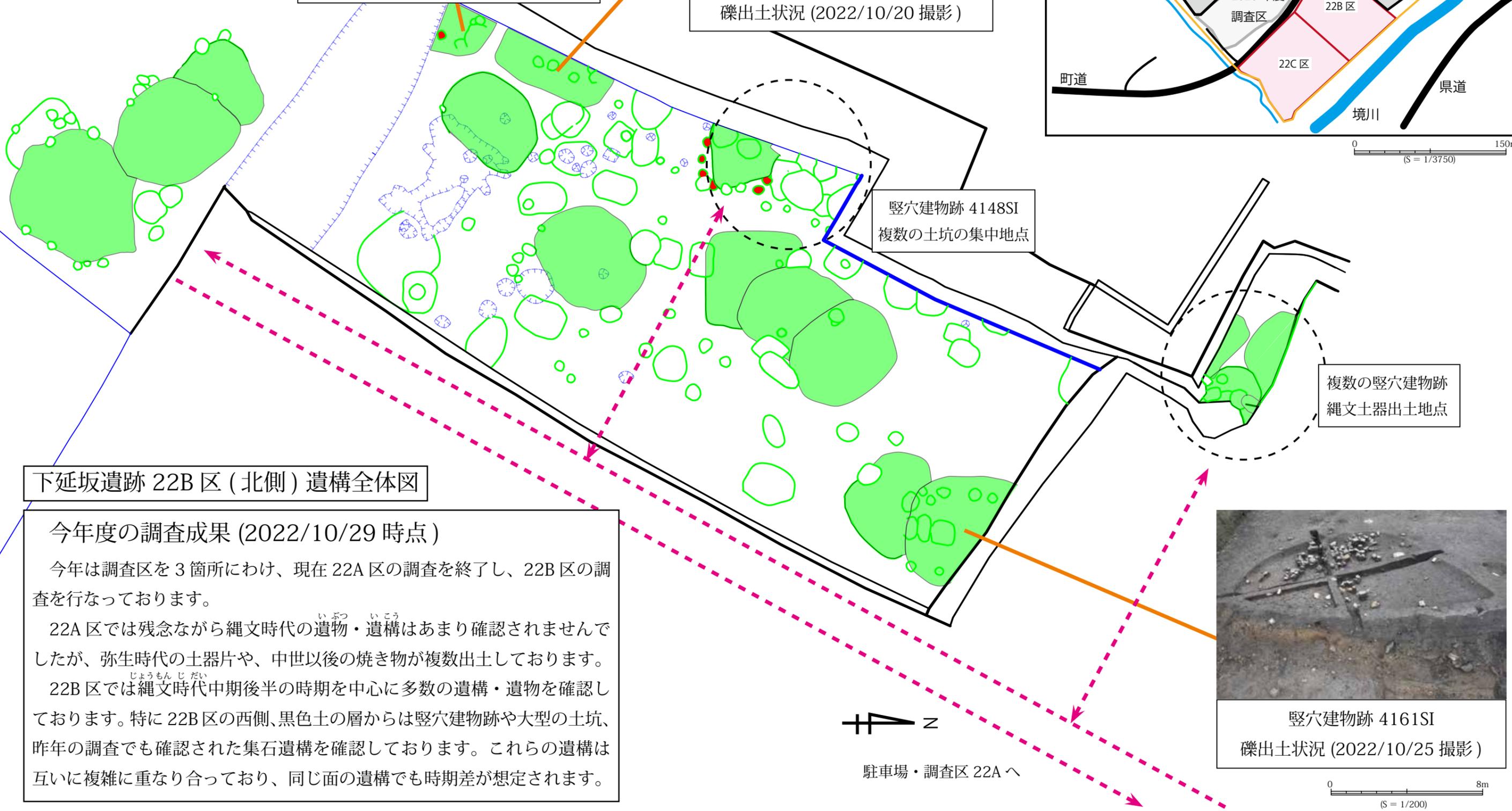
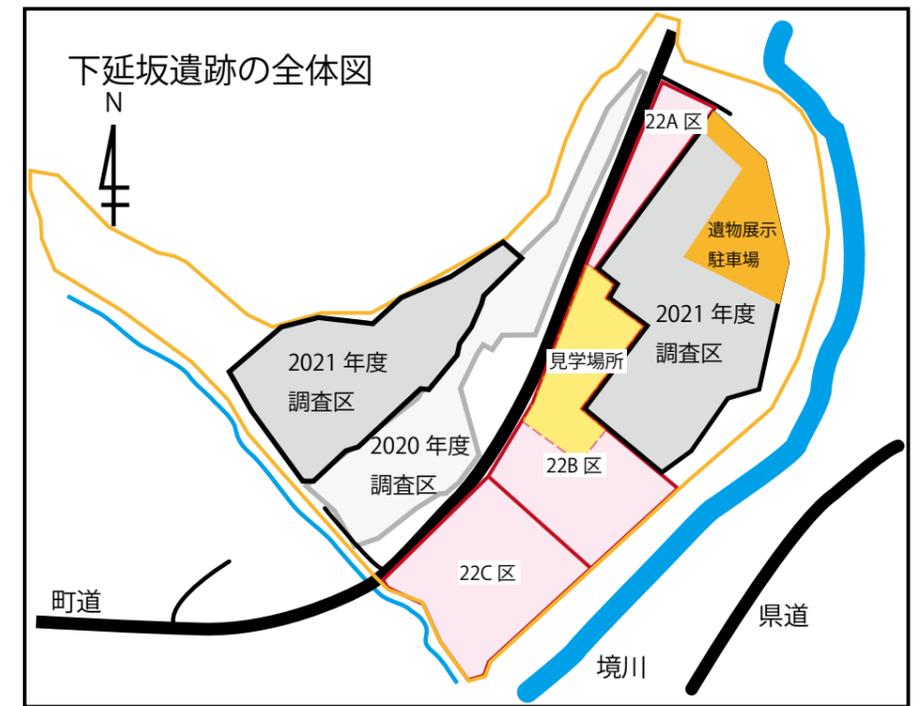
- 凡例
- 遺構 
  - 竪穴建物跡 
  - 柱穴 
  - 攪乱 
  - 移動順路 



竪穴建物跡 4151SI  
礫出土状況 (2022/10/20 撮影)



竪穴建物跡 4150SI  
礫出土状況 (2022/10/20 撮影)



下延坂遺跡 22B 区 (北側) 遺構全体図

今年度の調査成果 (2022/10/29 時点)

今年度は調査区を3箇所に分け、現在 22A 区の調査を終了し、22B 区の調査を行っております。

22A 区では残念ながら縄文時代の遺物・遺構はあまり確認されませんでした。弥生時代の土器片や、中世以後の焼き物が複数出土しております。

22B 区では縄文時代中期後半の時期を中心に多数の遺構・遺物を確認しております。特に 22B 区の西側、黒色土の層からは竪穴建物跡や大型の土坑、昨年の調査でも確認された集石遺構を確認しております。これらの遺構は互いに複雑に重なり合っており、同じ面の遺構でも時期差が想定されます。